

春時雨と一羽のすずめ

寒く、ながいながい冬をこえ  
岩のようにかたくなった樹々の樹皮を  
今朝の雨は

やわらかくほぐしてくれます  
枯れ葉や、もう動けなくなった  
小さなものたちの眠る蒼い土も  
ゆっくりと、ほぐしてくれます  
樹のなかからも、土からも  
やがて

あたらしいのちが芽ばえ  
春の風にのって、そっと漂うのです

ぼくのお母さんは  
この樹の根もとで眠っています  
ぼくはまた、お母さんに  
逢えるでしょうか

すずめさん、  
春のあたたかい雨は  
みんなに降りそそぎます  
お母さんも、きつと

陽光にながれる風にのって  
すずめはちゅんちゅんと  
うれしそうに鳴きました